

自然エネルギー上小ネット・第40回情報交流会

持続可能な地域社会を目指して・講演と意見交換会

『 水 を学べば 自然エネルギーも解る！ 』

人類もすべての生命も水のおかげで生きている！
地球は水のおかげで奇跡の星となった！！
水の循環を識り
生活を支える水道を学ぶ

講演

I 『生物浄化法による安全な飲料水の普及』

13:35～14:20

・上田の染屋浄水場では、川から入れた原水が、そこに棲む自然界の藻や微生物の活動により私たちが飲んだり生活に使う水道水に浄化されている…。この中本先生の研究は途上国や生活水に悩む世界各国に紹介され、JICA 等との協働で生物浄化の緩速濾過による水道として普及。人々の健康や生活向上に貢献したとして本年、日本水大賞・国際貢献賞を授与されました。その浄化法はまさに自然のエネルギー（バイオマス）によるSDGs の理念に沿うものと中本先生のお話を聞きます。

講師：中本 信忠 先生 信州大学名誉教授 理学博士・生物学

II 『様々な水問題の解決に必要な地球規模の水循環の解析！』

14:25～15:10

自然エネルギー（水力）の資源としても重要な地球上の水は、量としては地球体積 0.13% の 14 億 km³、その内の 2.5% が淡水だが人間が使える河川水などは更にその 0.4%。その貴重な水資源のマネジメントは人類はじめ全ての生き物、否自然界全体の問題。その水の水循環自体も太陽光など自然エネルギーによって繰り返されるが、その循環システムを解明し地球規模の様々な条件下でどこをどのように、どの位で水質はどうかの把握を可能とした、統合型水循環シミュレーター (GETFLOWS) を開発した西岡相談役が、解析実用事例など画像も交えてお話下さいます。

講師：西岡 哲 先生 (株)地圏環境テクノロジー創業・現相談役

III 質問応答 意見交換

15:10～15:30

司会：自然エネルギー上小ネット・バイオマスエネルギー部会 川田富夫

開催日時：令和 元年 9 月 7 日（土）13:30～15:30（13:00～受付）

会場：上田駅前ビル・パレオ 2F 会議室（上田市天神 1-8-1 0268-29-0210）

参加費：無料（パレオビル駐車場無料利用券あり）申込み：不要、どなたでも参加可

主催：自然エネルギー・上小ネット

問合せ 自然エネルギー・上小ネット 090-4544-8875（川田） 090-1533-2072（末広）

講師紹介

中本 信忠 (77歳、東京都出身)

プロフィール



1965年東京都立大学理学部生物学科卒、理学博士。

1975年10月 信州大学繊維学部助手、1981年助教授、1990年 教授。

2008年3月定年退職、4月信州大学名誉教授。

研究歴など；都立大学大学院で微生物生態学、藻類の生態について研究。海洋の植物プランクトン、ダム湖での淡水赤潮現象の研究。1974年、1976年ブラジル、サンパウロ大、サンカルロス連邦立大でダム湖富栄養化防止研究のJICA(国際協力機構)短期専門家として指導助言。

信州大学で菅平ダム湖富栄養化研究、1984年から染屋浄水場での藻類の役割研究。

2005年9月「藻の繁殖に注目した緩速ろ過技術」で愛知万博「愛・地球賞」を受賞。

2006年からJICAの国際研修で緩速ろ過、生物浄化法の指導に協力。2006年からNPO地域水道支援センター理事長、2017年から同理事。2018年からNPO沖縄Blue Water理事。2019年6月「生物浄化法による安全な飲料水の普及」で第21回日本水大賞国際貢献賞を受賞。

著書：「生でおいしい水道水」築地書館・2002年、「おいしい水の作り方」築地書館・2005年 ほか

西岡 哲 (69歳、静岡県出身)

プロフィール



1972年茨城大学農学部卒業後、東急建設株式会社に入社、技術研究所にて、マスコンクリート施工技術の開発、トンネル施工技術であるNATM工法の研究開発、大深度地下開発実証研究、大深度地下における地下水流動に関する研究などを推進する。また1990年代には時代に先駆けて中国の沙漠における大型太陽光発電プロジェクトの調査研究を進める。

2000年に東京大学工学部・登坂博之教授により開発された統合型水循環シミュレーションシステムGETFLOWSをコア技術として、水資源、水環境、水災害に関する技術・情報を提供する株式会社地圏環境テクノロジーを起業、2016年に相談役となり今日に至る。

健全な水循環系の形成には、水循環の経路、水収支の現状把握、将来予測、さらには水資源量の把握、水環境の評価、水災害の予測などを総合評価した上で、必要な保全対策を計画し実行していくことが求められます。今日、土壌や地下水の汚染、河川・湖沼水の汚染、大規模自然改変による水環境の破壊とそれに伴う生態系の変化、洪水や土石流などによる災害など多様な水問題がおこっています。 見ることができない流域の水循環を可視化することにより、私たちの行動にどのように役立つのか、事例紹介を交え報告します。

自然エネルギー・上小ネット

とは、「新しい公共」自然エネルギーの地消地産を目指し、地域の住民が主体となって、個人、任意団体、NPO、企業、大学、行政、自然エネルギー・信州ネットと連携し、地域の課題は地域で解決しようとする上小地域の協議会です。事業として、自然エネルギー啓発活動、自然エネルギー活用事業化の支援活動をしています。

自然エネルギー・上小ネット 会員募集中 Tel 090-1533-2072(末広) ssyslab@gmail.com